

令和3年度
第11回上田市議会報告会



上田市新議場

令和3年11月6日（土）午後1時30分～

上田市役所本庁舎大会議室

目 次

- 1 上田市議会議員名簿 …………… 1 ページ
- 2 市議会のしくみ …………… 2・3 ページ
- 3 総務文教委員会活動報告 …………… 4・5 ページ
- 4 産業水道委員会活動報告 …………… 6・7 ページ
- 5 厚生委員会活動報告 …………… 8・9 ページ
- 6 環境建設委員会活動報告 …………… 10・11 ページ
- 7 広報広聴委員会活動報告 …………… 12・13 ページ
- 8 議会運営委員会活動報告 …………… 14・15 ページ
- 9 健康づくり推進特別委員会活動報告 …… 16・17 ページ
- 10 請願・陳情の審査状況 …………… 18 ページ
- 11 令和2年度議会報告会のご意見等回答…… 19 ページ

上田市議会議員名簿

議席	氏名	ふりがな	役職	常任委員会		会派	自治会等	自宅電話
1	金子 和夫	かねこ かずお		産業水道		仁政会	石井	35-0453
2	成瀬 拓	なるせ たく		○ 環境建設	広報広聴	日本共産党	材木町	27-2771
3	松尾 卓	まつお たかし		環境建設		公明党	下本入	85-0747
4	中村 悠基	なかむら ゆうき		○ 総務文教		上志の風	伊勢山	27-7266
5	金井 清一	かない せいいち		産業水道	○ 広報広聴	壮志会	塩田新町	38-0393
6	石合 祐太	いしあい ゆうた		総務文教	広報広聴	新生会	大久保	23-3482
7	欠員							
8	小坂井 二郎	こさかい じろう	監査委員	環境建設		仁政会	中之条	23-2582
9	松山 賢太郎	まつやま けんたろう		厚生	広報広聴	仁政会	染屋	22-5452
10	古市 順子	ふるいち じゆんこ		◎ 厚生		日本共産党	竹室	72-3261
11	金沢 広美	かなざわ ひろみ		◎ 産業水道	広報広聴	公明党	岩清水	27-5102
12	飯島 伴典	いじま ともり		○ 厚生	広報広聴	上志の風	木町	75-8587
13	原 栄一	はら えいいち		環境建設	広報広聴	壮志会	大屋	35-0147
14	宮下 省二	みやした しょうじ		総務文教		壮志会	諏訪形	22-6415
15	斉藤 達也	さいとう たつや		○ 産業水道		新生会	材木町	21-7322
16	齊藤 加代美	さいとう かよみ		厚生	広報広聴	新生会	海戸	41-1910
17	井澤 毅	いざわ つよし		◎ 環境建設		新生会	越戸	31-2123
18	土屋 勝浩	つちや かつひろ	議長			新生会	長島	24-3344
19	西沢 逸郎	にしざわ いつろう		総務文教		仁政会	城北	090-2473-1571
20	久保田 由夫	くぼた よしお		◎ 総務文教		日本共産党	長瀬中央	42-6361
21	渡辺 正博	わたなべ まさひろ		産業水道		日本共産党	下之郷	38-4452
22	半田 大介	はんた だいすけ	副議長	総務文教		公明党	保野	38-0162
23	池上 喜美子	いけがみ きみこ		厚生		公明党	踏入	25-3360
24	池田 総一郎	いけだ そういちろう		環境建設		上志の風	上本郷	38-2960
25	南波 清吾	なんば せいご		産業水道		上志の風	下室賀	31-3286
26	佐藤 清正	さとう きよまさ		厚生		壮志会	中丸子	42-0784
27	小林 隆利	こばやし たかとし		厚生		壮志会	鈴子	38-4185
28	林 和明	はやし かずあき		産業水道	◎ 広報広聴	新生会	川辺町	27-7772
29	佐藤 論征	さとう のりゆき		総務文教		新生会	真田	72-5666
30	尾島 勝	おじま まさる		環境建設		新生会	久保林	36-2641

◎は委員長、○は副委員長

市議会のしくみ

市議会は、市民の直接選挙により選ばれた議員で構成されます。

市民全体を代表する機関として、市の最終的な意思を決定するとともに、執行機関を監視するという大切な役割を持っています。

市長をはじめとする「執行機関」は、よりよい市政運営のためにいろいろな施策を立案し実行します。これに対し、市議会は「議決機関」と呼ばれ、市長の立案した事柄について意見を述べ、審査及び議決し、最終的な上田市の意思を決定します。

市長と議員が、教育や福祉あるいは産業振興といった市民生活に関係ある事項について真剣に検討を行う市議会は、市民の声を行政に反映させる場であるといえます。

市議会議員

市議会議員は、住民全体の代表である非常勤の特別職公務員です。

市政の各種課題の解決に向けて市民の声をくみとり、これを市政に反映させる一方、市政の動きや議会の活動について市民に知らせる使命を帯びています。

議長と副議長

議長と副議長は、議員の中から選挙されます。議長は、議会の代表者であり、会議を円滑に運営するほか、議会全体の事務を処理するなどの権限を持っています。

副議長は、議長が病気などで職務をとれない場合に代行します。

会派

会派とは、同じような考えを持った議員の集まりで、議会活動において自分たちの考えを会派の意見としてより強く打ち出すことができます。

上田市議会は、国会と同様に会派制をとっており、3人以上の議員により会派を結成することができます。

本会議と委員会

議員全員が議場に集まって開く会議が本会議です。この本会議の議決がなければ、条例や予算などは法的な効力を生じません。

委員会は、市の事務を効率的かつ専門的に審査するため分野別に分担して議案などを審査し、本会議に報告します。委員会は、本会議の予備審査機関として重要な役割をもっています。

常任委員会

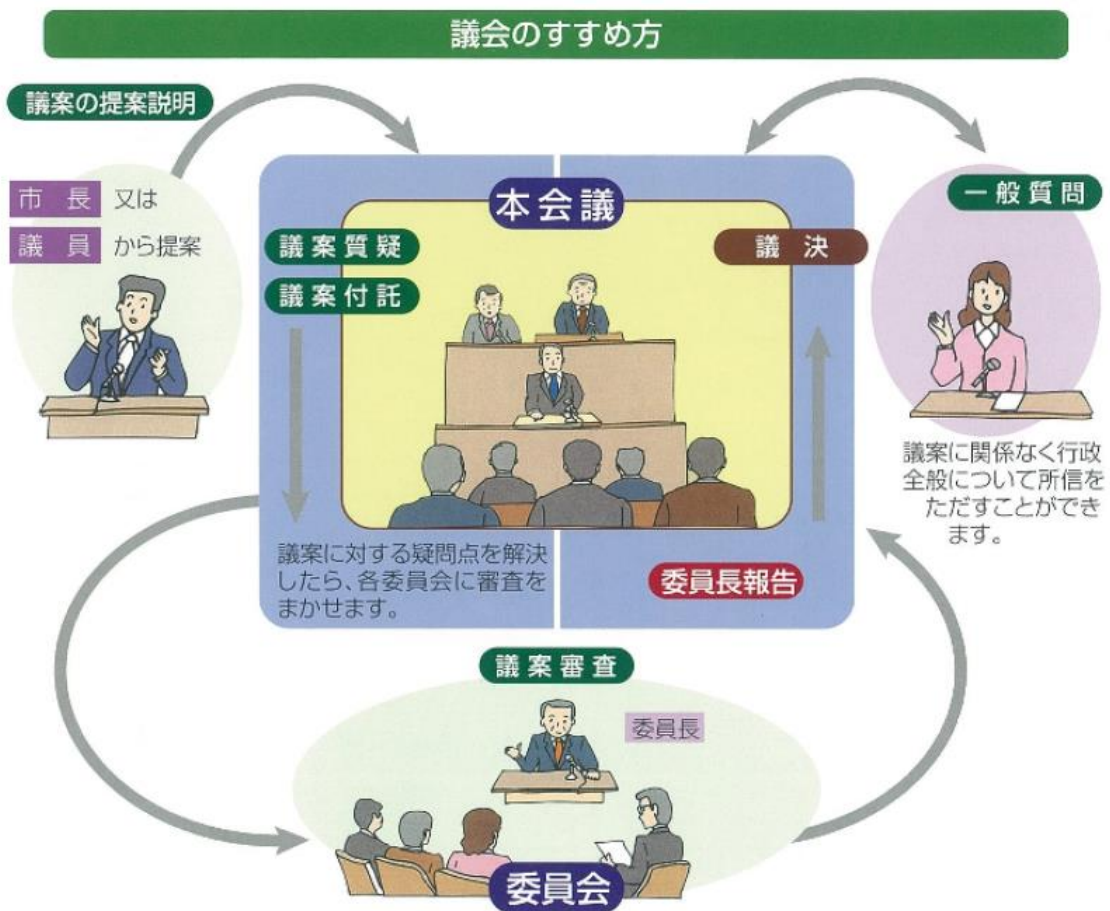
委員会名(定数)	所管事項
総務文教委員会 (8人)	秘書課、政策企画部、総務部、財政部、教育委員会、会計課、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員及び固定資産評価審査委員会に関すること。他の委員会に属さないこと。
産業水道委員会 (7人)	商工観光部、農林部、農業委員会、上下水道局に関すること。
厚生委員会 (7人)	福祉部、福祉事務所、健康こども未来部に関すること。
環境建設委員会 (8人)	市民参加協働部、生活環境部、都市建設部、消防部に関すること。
広報広聴委員会 (9人)	市民意見の集約、議会の活動内容を市民に提供すること及び市民意見の把握に関すること。

議会運営委員会

議会運営委員会 (8人)	議会の運営、議会の会議規則・委員会に関する条例等及び議長の諮問に関すること。
-----------------	--

特別委員会

	必要に応じて議会の議決により設置されます。議決された特別の事項についてのみ審査し、審査が終了した時点で消滅します。
--	---



請願と陳情

市議会では、市民のみなさんの要望などを請願や陳情という形で受け付けています。提出された請願や陳情は、内容を審査し、採択(とりあげる)か不採択(とりあげない)かを決定します。紹介議員の必要な請願は、地方自治法に基づき議案と同様に本会議で議決します。陳情は、委員会審査にとどめますが、請願に準じた扱いをしています。

年 月 日

上田市議会 議長
様
(議長名)

提出者 住所 _____

氏名 _____
(署名または記名・押印)

紹介議員 _____
(署名または記名・押印)

〇〇〇〇〇〇〇に関する請願

請 願 の 趣 旨



年 月 日

上田市議会 議長
様
(議長名)

提出者 住所 _____

氏名 _____
(署名または記名・押印)

〇〇〇〇〇〇〇に関する陳情

陳 情 の 趣 旨

総務文教委員会からの報告

1 総務文教委員会の構成



(後列) 佐藤論征委員、半田大介委員、西沢逸郎委員
(前列) 石合祐太委員、久保田由夫委員長、中村悠基副委員長、宮下省二委員

2 総務文教委員会の主な仕事

- 地方創生、シティプロモーション、学園都市、上田市政策研究センターなど政策、広報、サントミュージゼに関すること
- 防災、条例、情報、行財政改革などに関すること
- 予算（歳入）・財務、税金、入札・契約などに関すること
- 小・中学校教育、公民館、図書館、体育施設などに関すること

3 重点的に取り組んでいる主な活動

(1) 収納対策の強化

総務文教委員会では、委員任期で取り組むべき重点課題を「収納対策の強化」とし、取組を進めております。「収納対策の強化」は、これまでも一般会計の決算審査の際に附帯意見を付すなど、取組の推進を市に求めてきましたが、調査研究を重ねる中で、債権管理条例の制定の必要性が認められたことから、「収納対策の強化に向けた提言書」として集約し、市長に提出しました。

その後市からは、「債権管理条例」の制定に向けた取組を進めているとの報告があったことから、今後、条例案が議会に提出された際には、これまでの調査結果や提言

事項を踏まえた審査を行ってまいります。

①「収納対策の強化に向けた提言書」の内容

1 債権管理条例を制定する際は、次の事項に留意すること。 (1) 債権放棄の適否を公正に判断するための基準を検討すること。 (2) 生活困窮状態にある債務者への取り扱いに配慮すること。
2 債権管理条例の趣旨や目的を推進するために、次の事項を行うこと。 (1) 債権放棄の適否を公正に判断するための基準を検討すること。 (2) 関係課間での情報共有を迅速に行うこと。

(2) 小中学校・学童保育施設の課題把握

新型コロナウイルスの感染が広がる中で、学校・学童保育施設の運営や老朽化対策が必要な小中学校の状況を把握するため、市内4つの小中学校と3つの学童保育施設の所管事務調査を行い、現地確認を実施しました。また、上田市校長会と懇談を行い、学校現場の課題等を調査しました。調査により、教育現場の実情が把握できたことから、今後、市の教育施策に対して、こうした課題や実情に即した提言や審査を行ってまいります。

(3) 上田市に提出した総務文教委員会関係の附帯意見

①令和元年度一般会計決算に付した附帯意見と市の主な取組結果

附帯意見	市の主な取り組み（結果）
公共施設マネジメント基本方針の推進について	・34種類の公共施設のうち、令和3年6月末現在で、スポーツ施設や保育施設など18種類の個別施設計画が策定された。残り16種類のうち8種類が策定中、8種類が未策定であり、引き続き施設所管課に策定を進めるよう働きかけていく。

②令和2年度一般会計決算に付した附帯意見（今年9月議会）

1 公共施設マネジメントの推進について 早急に個別施設計画の策定及び取組を推進すること。
2 地方創生の推進について 人口減少幅の縮小に向けた地方創生の取組を着実に推進すること。

産業水道委員会からの報告

1 産業水道委員会の構成



林和明委員、南波清吾委員、渡辺正博委員
金井清一委員、金沢広美委員長、斉藤達也副委員長、金子和夫委員

2 産業水道委員会の主な仕事

- 工業・商業・観光業・農業・林業・林産業等の産業振興と雇用等労働行政に関する全般
- 上水道・下水道・農業集落排水事業に関する全般

3 重点的に取り組んでいる主な活動

(1) 昨年来、「台風災害及びコロナ禍によって影響を受けた事業者への支援」を重点課題と位置付け、上田市の観光関連産業の中心を担う観光・旅館組合などの関係団体との懇談を通して、現状を把握し、必要とする支援について調査を行ってきました。

① 別所温泉旅館組合（令和2年8月4日）

主な収入源である会費収入や駐車場収入が激減しており、事業の存続が危ぶまれているとのご意見がありましたが、令和2年9月定例会で減収見込み相当額を支給する支援事業費が予算計上され、可決しました。

② 菅平高原観光協会・菅平高原旅館組合（令和2年10月20日）

サニアパークの管理、観光協会所有土地の整備等について、ご意見・ご要望を伺いました。

観光協会所有土地内の野口みずきコースについては、真田地域自治センターの協力のもと、県の元気づくり支援金の採択が決定し、整備が行われました。

③ 鹿教湯温泉観光協会・鹿教湯温泉旅館協同組合（令和2年10月29日）

GoToトラベルキャンペーン終了後を見据えた支援、補助制度の期間や上田市の公共施設である鹿月荘について、ご意見・ご要望を伺いました。

鹿月荘については、令和3年6月定例会で、経営改善に向けた料金改定やリニューアル実施の可否根拠とするためのコンサルティング業務委託料が予算計上され、可決しました。

④ 霊泉寺温泉旅館組合（令和3年4月22日）

かねてから地域要望のあった観光トイレの設置と共同浴場の改修等について、ご意見・ご要望を伺いました。

夏場の観光客から、トイレがないことについて苦情があり、衛生的にも問題が生じていましたが、令和3年9月定例会でトイレ設置に係る予算が計上され、可決しました。

⑤ 大塩温泉旅館組合（令和3年7月21日）

コロナ禍の影響もあり、旅館は休業しているものの、廃業した旅館をリフォームし、カフェ営業の準備を進めていることや、泉質を売りにした配送業、同じく泉質を生かした酵素風呂を活用したサロン経営などの取組についてお話を伺いました。

（2）「持続可能な上下水道事業の構築」を重点課題と位置付け、経営基盤や技術基盤の強化など、持続可能な上下水道事業の構築に向けた調査・研究として、上下水道局と懇談を実施しました。

実施日	懇談内容
令和2年10月30日	令和3年度から令和6年度までの上下水道料金についての上下水道審議会への諮問内容及び今後の料金改定における方針について懇談、意見交換を実施しました。
令和3年6月21日	上田市が長野県企業局、長野市、千曲市、坂城町と、人口減少社会における持続可能な事業体制の構築に向け、研究を行う水道事業の広域化について懇談を実施しました。

厚生委員会からの報告

1 厚生委員会の構成



佐藤清正委員、小林隆利委員、池上喜美子委員
齊藤加代美委員、古市順子委員長、飯島伴典副委員長、松山賢太郎委員

2 厚生委員会の主な仕事

- 福祉、高齢者介護、障がい者支援に関すること
- 健康推進、国民健康保険、高齢者医療、保育園、幼稚園、子育てに関すること
- 上田市立産婦人科病院に関すること

3 重点的に取り組んでいる主な活動

(1) 上田市立産婦人科病院のあり方について

厚生委員会では、上田市立産婦人科病院に関する平成30年度決算認定において、「地域の周産期医療を維持していくための研究組織の立ち上げ」を求める附帯意見を付すなど、将来の地域周産期医療提供体制の安定的な確保は重要な課題と捉えています。また、市では産婦人科病院運営審議会に対し、「地域の周産期医療体制を踏まえた上田市立産婦人科病院のあり方」について諮問し、3月に答申がなされています。このような状況を受け、厚生委員会では信州上田医療センターや担当課と懇談を行っておりますので、今後も関係機関との懇談を行うなど、将来の地域周産期医療提供体制の安定的な確保に向けた取組を行ってまいります。

(2) 地域医療体制の充実

厚生委員会では、取り組むべき重点課題を「地域医療体制の充実」とし、取組を進めております。これまで、上田市医師会や信州上田医療センター、担当課との懇談などを通して調査・研究をしてきましたが、調査結果を踏まえた考え方を示す必要があることから、上田市などへの提言等を予定しています。現在は、提言書等の作成段階にあります。地域医療体制の充実に向けた内容となるように、調査結果を集約してまいります。

(3) 新型コロナウイルス感染症対策に関する要介護者と障がい者への支援

厚生委員会では、新型コロナウイルスの感染が拡大し、収束が見通せない状況にあることから、影響が大きい介護事業者や要介護者、障がい者施設、障がい者の状況を把握するため、令和2年7月に担当課との懇談を行いました。懇談では、支援策についての要望を行ったところ、令和2年9月補正予算では、感染症拡大防止の取組を支援する「感染症対策防止支援金支給事業」が計上され、在宅の要介護者や障がい者等に対して一人当たり1万円が支給されました。本事業は今年度も継続され、一人当たり5,000円が高齢者約6,200人、障がい者約5,700人に支給されています。また、新型コロナウイルスワクチン接種では、障がい者施設等での施設接種が行われた状況もあることから、今後も上田市の取組が要介護者や障がい者への支援につながるよう担当課と連携し、必要に応じて要望等をしてまいります。

(4) 主な懇談会

懇談団体	時期	懇談内容
上田市私立保育園・認定こども園協会	R2. 10. 27 R3. 10. 29	子ども・子育て支援制度について他
上田市医師会	R2. 11. 10	上田看護専門学校存続について他
信州上田医療センター	R3. 08. 04	救急医療体制、周産期医療体制について

環境建設委員会からの報告

1 環境建設委員会の構成



小坂井二郎委員、尾島勝委員、池田総一郎委員
松尾卓委員、井澤毅委員長、成瀬拓副委員長、原栄一委員

2 環境建設委員会の主な仕事

- 戸籍、マイナンバー、自治会、市民協働、地域協議会、地域自治組織、人権男女共同参画、ふるさと寄付金、結婚支援、移住に関すること
- 環境衛生、新エネルギー、ごみ処理、空き家対策、市営住宅に関すること
- 道路、水路、公園、都市計画、公共交通に関すること
- 常備消防、非常備消防、消防施設、水防に関すること

3 重点的に取り組んでいる主な活動

- (1) 上田市では「運賃低減バス実証運行」を平成25年10月より実施し、2期6年の実証運行の結果から、一定の効果が認められたとし、令和元年10月1日以降も運行継続となりました。委員会ではこれまでの間、交通関係の先進地視察や路線バス網の再編を目指すことなどの提言を行ってきました。

また、令和元年東日本台風や新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の交通を支える事業者の経営は一層厳しい状況であることから、市内を通行するバス事業者や鉄道事業者のほか、タクシー事業者との懇談を行いました。今後は、各事業者からの意見を踏まえ、さらに研究を進めてまいります。

このほか、現在、市内の路線バスや上田電鉄別所線で実施している上田市公共交通QRカード決済実証実験についても注視してまいります。

(2) これまでに実施した先進地視察のうち、公共交通に関する項目について、視察して以降、特に新型コロナウイルス感染症の影響などを踏まえた書面による追跡調査を実施してまいります。

(3) 上田地域広域連合で進めている資源循環型施設建設は、上田市にとって長年の大きな課題であることから、施設建設に関する進捗状況等を中心に情報収集を行ってまいります。また、資源循環型社会を目指す上で大変重要となるごみ減量化につきましても、これまでの様々な取組を検証し、さらに研究してまいります。

(4) 所管事務調査

視察地	時期	視察項目
市道横沢角間線	R2. 12. 4	令和元年東日本台風被災箇所の現地視察
市道小岩門16号線、市道平井茂沢線	R2. 12. 4	市道路線認定に伴う現地調査
戸沢防災資機材庫	R2. 12. 4	公有財産の無償譲渡に伴う現地調査

(5) 懇談会

懇談団体	時期	懇談内容
上田バス株式会社	R3. 11. 2	・令和元年東日本台風と新型コロナウイルス感染症に伴う影響、現状及び課題について
千曲バス株式会社	R3. 11. 2	
しなの鉄道株式会社	R3. 11. 2	
上田電鉄株式会社	R3. 11. 2	
長野県タクシー協会 上小支部	R3. 11. 2	

広報広聴委員会からの報告

1 広報広聴委員会の構成



齊藤加代美委員、原栄一委員、飯島伴典委員、金沢広美委員、松山賢太郎委員
石合祐太委員、林和明委員長、金井清一副委員長、成瀬拓委員

2 広報広聴委員会の主な仕事

- 市民意見や要望等を集約し、議会活動に生かすこと
(議会報告会・テーマ別車座集会の開催等)
- 議会の活動内容等を市民に広く知らせること
(うえだ市議会だよりの発行、市議会ホームページ・ツイッター・フェイスブック等による情報発信、議場見学会や議会出前授業の開催)

3 重点的に取り組んでいる主な活動

(1) 本会議のインターネット中継の配信

広報広聴委員会では、本会議をより多くの皆様にご覧いただくため、インターネット中継導入に向けた検討を主体的に行い、配信時期やシステム運用等を決定してきました。また、安全・安定的な配信を行うため、令和3年6月定例会は議会内での試行に留め、配信映像の確認等を行いました。このような経過を経て、9月定例会から、本会議の全日程をインターネット中継しています。中継は、「生配信」と「録画配信」を行っていますので、より多くの皆様にご覧いただけるように、今後も必要な検討を行ってまいります。

(2) 議会報告会の開催

○令和2年度：オンラインを主体とした議会報告会を初開催

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、従来どおりの開催が難しい状況であったことから、初の試みとして「オンライン主体の議会報告会」を開催しました。当日は、マルチメディア情報センターから生配信を行い、インターネット上に寄せられたご意見に対しては、生配信内で回答を行いました。

○令和3年度：オンラインを主体とした2部制の議会報告会を開催

「議会の活動報告」と「アフターコロナを見据えた講演会」などを市役所本庁舎からお送りします。昨年の経験も踏まえた「オンライン中継主体の議会報告会」となりますので、どうぞ最後までご覧ください。

(3) 議場見学会の開催

令和3年5月に新本庁舎が完成したことから、新議場を多くの皆様にご覧いただきたく、「議場見学会」を開催しています。見学を希望される際は、概ね2週間前までに、5名以上のグループでお申し込みください。多くの皆さまのお申し込みをお待ちしております。

※ 議会日程や新型コロナウイルスの感染状況により、希望日での開催ができない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

(4) インターネットを活用した情報発信

SNS（交流サイト）のツイッターとフェイスブックでは、上田市議会ページを開設し、議会の活動内容等を発信しています。本会議や議会関連のイベント等の情報は随時発信しますので、市議会のホームページとSNSをぜひご活用ください。



Facebook



(5) 上田市議会だよりの編集・発行

広報広聴委員会では、上田市議会だよりの発行を通じて、本会議の審議内容等を詳しく発信しています。主な予算には詳しい説明を加え、裏表紙には、令和2年7月に「上田市手話言語の普及及び視聴覚障害者等の意思疎通手段等の利用促進に関する条例」が制定されたことを受け、「いま覚えてほしい手話」を掲載するなど、理解しやすく、親しみやすい紙面を目指していますので、ぜひご覧ください。

議会運営委員会からの報告

1 議会運営委員会の構成



成瀬拓委員、金子和夫委員、斉藤達也委員、小林隆利委員
金井清一委員、佐藤論征委員長、松尾卓副委員長、中村悠基委員

2 議会運営委員会の主な仕事

円滑な議会の運営を期すため、議会運営について協議し、意見調整を図る

- 議会の運営に関する事項
- 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
- 議長から諮問された事項の調査・検討

3 重点的に取り組んでいる主な活動

(1) 新型コロナウイルスの感染状況に応じた議会運営

議会運営委員会では、定例会ごとに新型コロナウイルスの感染対策を協議し、運営方針を決定しています。特に一般質問については、議案審査を優先する観点から、「一般質問実施の可否の判断基準」を設け、長野県の判断による上田圏域の感染警戒レベルに基づき、実施の可否を協議しています。また、一般質問を実施する場合においては時間短縮の必要性についても協議し、中止する場合においては一般質問を補完する取組として文書による一般質問を導入するなど、感染状況に対応した議会運営を行っています。現状では、新型コロナウイルス感染症の終息は見通せない状況にあることから、今後も、一般質問や議案審査の重要性を十分踏まえた上で、感染状況に応じた議会運営を行ってまいります。

(2) 一般会計決算・当初予算の審査方法の検討

一般会計決算・当初予算は、これまで4つの常任委員会に分割付託し、審査を行ってきましたが、「議案一体の原則」などを考慮した審査を行うため、特別委員会への一括付託による審査を試行し、検証しています。

一般会計決算は、平成29年度から特別委員会による審査を行っていることから、これまでの審査を通じて検証・改善を進めています。今年度は、決算審査をより効果的に行うための審査資料の充実を図るため、前年度（令和2年度）の新規事業の決算額を担当部局に求め、事業費全体の決算額を把握しやすくしました。また、全体質疑の実施方法の変更なども行いました。

一般会計当初予算審査では、令和3年3月定例会で初めて特別委員会による審査を行いました。令和4年3月定例会では、令和3年3月定例会での検証結果も踏まえた審査を行います。

以上を踏まえ、一般会計決算・当初予算審査を効果的に審査するための検証を今後も行い、一括審査実施に向けた審査方法の確立を進めてまいります。

(3) 本会議のインターネット中継開始に向けた検討

上田市議会では、令和3年9月定例会からライブ配信と録画配信により、本会議の全日程をインターネットで中継しています。中継を開始するにあたり、議会運営委員会と広報広聴委員会では、所管事項に応じてそれぞれの委員会で運営方針などについて検討を重ねてきました。議会運営委員会では、議会運営に関する事項を中心に「インターネット中継の内容」や「録画配信の公開時期」等を検討し、決定してきたことから、今後必要な検討事項が出てきた際には、上田市議会の運営方針や他市議会の状況、視聴者の利便性などを踏まえた上で、運用方針を決定してまいります。

健康づくり推進特別委員会からの報告

1 健康づくり推進特別委員会の構成



(左上から) 林和明委員、池田総一郎委員、西沢逸郎委員
齊藤加代美委員、佐藤清正委員長、池上喜美子副委員長、古市順子委員

2 健康づくり推進特別委員会の主な仕事

- 上田市議会基本条例第12条第3項に基づき、政策立案及び政策提言を目指し、議員間討議を行う。
- 生涯にわたる健康づくりを総合的に推進するための有効策を研究し、健康づくり推進のための条例制定を図る。
- 健康づくりを推進する関係団体と健康づくりに関する意見交換を行う。
- 条例主旨の普及を図るため、(市民の意識)啓発事業を行う。

3 重点的に取り組んでいる主な活動

(1) 市の健康づくり計画の調査と研究

市が策定している「第三次上田市民健康づくり計画」のうち、具体的な施策の展開として掲げている「健康管理」と「身体活動・運動」について、担当課から計画に対する現状と課題を確認しました。

(2) 健康づくりに関する条例を制定した先進地の事例研究

全国の自治体で制定している健康づくりに関する条例の中から、議員提案により条例制定した事例を中心に条項や条文の調査研究を行いました。

(3) 策定する条例の条文内容等に関する委員間討議

健康づくり推進特別委員会では、(1)や(2)で調査研究してきた内容を踏まえ、議員提案による条例の策定に当たり、条項や条文の内容について、委員間討議を重ねてきました。

討議を経て委員会で立案した条例の素案を全議員が参加する政策討論会の討論議題として議員間討議を行いました。政策討論会で提起された意見を踏まえ、令和3年12月定例会の上程に向けて、さらに討議を行ってまいります。

(4) 医療関係者との懇談会

懇談団体	時期	懇談内容
上田薬剤師会	R3. 7. 16	・ 条例骨子案について
上田小県歯科医師会	R3. 8. 3	
小県医師会	R3. 8. 4	

※上田市医師会との懇談会を8月中旬に開催する予定でしたが、8月6日に上田圏域の新型コロナウイルス感染症の感染警戒レベルが5となったことに伴い中止し、代わりに懇談内容であった「条例骨子案」に関するアンケート調査を実施しました。

(5) パブリックコメントの実施

令和2年6月の委員会発足から令和3年9月までの間、26回にわたる委員会協議と政策討論会、医療関係者との懇談会を行い、委員会として「(仮称)上田市人生百年時代をより良く生きる健康づくり条例原々案」をまとめ、令和3年10月にパブリックコメントを実施しました。

パブリックコメントでいただいたご意見は、上田市議会ホームページへの掲載のほか、市内8か所で公表します。

【パブリックコメントの公表場所】

- ① 上田市議会ホームページ
- ② 次の場所での閲覧
 - ア 上田市議会事務局窓口（上田市役所本庁舎5階）
 - イ 行政資料コーナー（上田市役所本庁舎1階）
 - ウ 丸子・真田・武石地域自治センター地域振興課窓口
 - エ 豊殿・塩田・川西地域自治センター窓口

令和2年12月議会以降の請願・陳情の審査、意見書の提出状況

請願

年	議会	件名	提出者	付託先	審査結果
R3	3月	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願	上小地区労働組合連合 議長 森嶋光氏ほか1人	産業水道	不採択
R3	3月	「日本政府に核兵器禁止条約への参加・調印・批准を求める意見書」の提出に関する請願	原水爆禁止上小地区協議会 代表 中沢盛雄氏ほか9人	環境建設	不採択
R3	9月	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める請願	非核・平和・憲法を護る上小の会 会長 林博信氏	厚生	不採択
R3	9月	トリウム等を含む処理水の処分方法について再検討を求める意見書の提出を求める請願	非核・平和・憲法を護る上小の会 会長 林博信氏	環境建設	継続審査

陳情

年	議会	件名	提出者	付託先	審査結果
R2	12月	上田市立第五中学校屋内運動施設建て替えにおける代替施設整備に関する陳情	荒井公德氏	総務文教	不採択
R2	12月	自治会・まちづくり協議会などによる恒久的な市道の路肩及び法面、側溝等の維持、補修管理を実施できる組織づくりについての陳情	荒井公德氏	環境建設	不採択
R2	12月	上田市議会への陳情における審査結果についての通知書への審査決定理由の記載に関する陳情	荒井公德氏	議会運営	不採択
R2	12月	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林吟子氏ほか7人	厚生	不採択
R3	3月	国土交通省告示第98号の履行に関する陳情	一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長 土屋長命氏ほか1人	環境建設	採択
R3	3月	最低制限価格の設定に関する陳情	一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長 土屋長命氏ほか1人	総務文教	継続審査
R3	3月	耐震診断・耐震改修に関する陳情	一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長 土屋長命氏ほか1人	環境建設	採択
R3	6月	最低制限価格の設定に関する陳情 (R3.3月継続審査案件)	一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長 土屋長命氏ほか1人	総務文教	不採択
R3	9月	「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額を求める意見書」採択を求める陳情	上田市教職員組合 執行委員長 高木義隆氏	総務文教	不採択
R3	9月	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める陳情	上田市教職員組合 執行委員長 高木義隆氏	総務文教	不採択

意見書

年	議会	件名
R2	12月	災害からの復旧・復興及び国土強靱化に向けた社会資本整備の促進を求める意見書
R3	9月	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実等を求める意見書
R3	9月	核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書

令和2年度議会報告会でのご意見等

昨年の議会報告会でいただいたご意見のうち、会場でお答えできなかったものについて掲載します。

担当	対応等	
厚生委員会	<p>上田市内科・小児科初期救急センターを受診したところ、発熱者外来と外来受診者の動線は別になっていたが、トイレは一緒であった。動線を分けるのであればトイレも別にするなど工夫ができないか。医師会等への調整をお願いしたい。</p>	<p>上田市内科・小児科初期救急センターを所管している市の担当課に確認したところ、令和2年12月中旬に、発熱患者とそうでない患者が使用するトイレをわけたとの回答がありました。 また、発熱患者がトイレを使用した場合に消毒を行うなどの感染対策を日常的に行っていることも確認しています。</p>
環境建設委員会	<p>環境建設委員会では「公共交通を支えるバス会社との懇談」を行い、研究を進め提言することだが、現状及び今後の方向性はどのように考えているか。「運賃低減バス実証運行」の今後の見通しも含め教えてほしい。根本的な仕組みを変えなければ問題の解決にはならないと思うがどうか。</p>	<p>令和3年11月にバス事業者を含めた公共交通の事業者と懇談を行い、今後の対応について現在協議中です。 運賃低減バスは、平成25年10月から実証運行事業として実施してきましたが、令和元年9月末で終了し、令和元年10月からは運行事業として継続しております。なお、運賃低減バスの導入と同時に新設した「御屋敷公園線」と「東塩田線」の2路線は、利用者数が特に少ない状況であったことから、令和元年9月末で廃線となりました。 現在、市では、公共交通の見直しを含め、「上田市地域公共交通計画」（計画期間：令和4年度から令和8年度までの5年間）の策定を進めております。議会では、当計画の進捗について注視してまいります。</p>
広報広聴委員会	<p>議会だよりやホームページで知りたい情報について ・そもそもの仕組みをわかりやすく知りたい。 (わからない言葉が多いと感じる。) ・課題の進捗状況。(今、上田市はどのような課題に取り組み、進捗状況はどのようになっているか教えてほしい。)</p> <p>今後の議会報告会について ・回数やテーマを多様にし、こうした機会を設けてほしい。 ・もっとアクセスを良くしてほしい。移住者には最寄の議員がいないことから、議会とコミュニケーションがとれるチャンネルをわかりやすくしてほしい。 ・インターネットも良いが、会場来場者は相変わらず少なくないか。</p>	<p>・多くの皆さまに議会の仕組みを知っていただくため、上田市議会のホームページでは、「市議会のあらまし」のページを設け、「市議会の主な役割」を掲載しています。また、本日の資料の2、3ページには「市議会のしくみ」を掲載し、図による説明もありますので、ぜひご覧ください。 ・上田市議会からの発信は議会関連の事項が中心になりますが、新型コロナウイルス感染症対策の予算を審査した際に、議会だよりにより内容を詳しく掲載するなどの取組をしてきました。今後も市民の皆さまが知りたい情報を届けられるように努めてまいります。</p> <p>議会報告会の導入時は、「所定の会場にお越しいただく方式」のみを採用していましたが、近年は、「ご用意いただいた会場に議員が向く出前型の方式」や「常任委員会ごとにテーマを設けて意見交換を行う車座集会」を開催するなど、皆さまのご要望に少しでも添えるよう、複数の開催方式を採用しています。昨年と今年は、新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインを主に1回の開催としたことから、ご期待に添えない事項が多く、ご来場しづらい状況もあると思いますが、安全面を考慮した上での運営であることをご了承ください。なお、議員と直接コミュニケーションを図る方法は、議会主催事業としての「議会報告会」と「議場見学会(本日の資料の13ページ参照)」があります。また、議員個人については、上田市議会のホームページと本日の資料の1ページに情報を掲載していますので、ぜひご活用ください。</p>

MEMO

第 11 回上田市議会報告会配布資料

(発行) 上田市議会 (編集) 広報広聴委員会

〒386-8601 上田市大手一丁目 11 番 16 号

電話 0268-22-0452 FAX 0268-23-5136

E-mail : gikai@city.ueda.nagano.jp

ホームページ <http://www.city.ueda.nagano.jp/>
